

## 第2章 県経済の規模と機能

### 県経済の構造分析

#### 2-1 県経済の規模

##### 概要表

		沖縄県実額			沖縄県伸び率	
		平成7年	平成12年	平成17年	12年/7年	17年/12年
<b>I 総需要額</b>	<b>I =A+B</b>	7,141,047	7,875,153	7,489,926	10.3%	△4.9%
<b>A 中間需要額</b>	<b>A</b>	2,179,078	2,474,943	2,520,938	13.6%	1.9%
<b>B 最終需要額</b>	<b>B=C+D</b>	4,961,969	5,400,210	4,968,988	8.8%	△8.0%
<b>C 地域内最終需要額</b>	<b>C=c1～c6の合計</b>	4,121,399	4,478,053	4,124,582	8.7%	△7.9%
c1 家計外消費支出	c1	102,409	112,017	101,437	9.4%	△9.4%
c2 民間消費支出	c2	1,965,923	2,132,481	2,088,696	8.5%	△2.1%
c3 一般政府消費支出	c3	914,005	1,032,509	1,043,183	13.0%	1.0%
c4 総固定資本形成（公的）	c4	526,672	581,772	331,539	10.5%	△43.0%
c5 総固定資本形成（民間）	c5	606,241	615,312	558,244	1.5%	△9.3%
c6 在庫純増	c6	6,149	3,962	1,483	△35.6%	△62.6%
<b>D 輸移出額</b>	<b>D</b>	840,570	922,157	844,406	9.7%	△8.4%
<b>II 総供給額</b>	<b>II=E+F</b>	7,140,997	7,875,153	7,489,926	10.3%	△4.9%
<b>E 県（国）内生産額</b>	<b>E=A+B-C</b>	5,410,023	5,933,601	5,766,899	9.7%	△2.8%
<b>F 輸移入額</b>	<b>F</b>	△ 1,731,024	△ 1,941,552	△ 1,723,027	12.2%	△11.3%
<b>III 県（国）際収支額</b>	<b>III=D-F</b>	△ 890,454	△ 1,019,395	△ 878,621	14.5%	△13.8%
<b>IV 粗付加価値額</b>		3,230,945	3,458,658	3,245,961	7.0%	△6.1%

全国（地域計）実額			全国（地域計） 伸び率		沖縄県 対全国比 (県実額/全国実額)			
平成7年	平成12年	平成17年	12年/7年	17年/12年	平成7年	平成12年	平成17年	
971,992,492	991,384,478	1,020,676,518	2.0%	3.0%	0.7%	0.8%	0.7%	I 総需要額
423,022,892	429,955,327	456,670,983	1.6%	6.2%	0.5%	0.6%	0.6%	A 中間需要額
548,969,600	561,429,151	564,005,535	2.3%	0.5%	0.9%	1.0%	0.9%	B 最終需要額
502,160,539	503,942,434	490,236,874	0.4%	△2.7%	0.8%	0.9%	0.8%	C 地域内最終需要額
19,419,377	19,171,185	16,802,674	△1.3%	△12.4%	0.5%	0.6%	0.6%	c1 家計外消費支出
271,795,784	280,990,212	280,873,295	3.4%	△0.0%	0.7%	0.8%	0.7%	c2 民間消費支出
69,162,658	73,492,299	76,689,905	6.3%	4.4%	1.3%	1.4%	1.4%	c3 一般政府消費支出
40,176,872	35,828,994	23,817,652	△10.8%	△33.5%	1.3%	1.6%	1.4%	c4 総固定資本形成（公的）
99,544,865	94,183,072	89,983,903	△5.4%	△4.5%	0.6%	0.7%	0.6%	c5 総固定資本形成（民間）
2,060,983	276,672	2,069,445	△86.6%	648.0%	0.3%	1.4%	0.1%	c6 在庫純増
46,809,061	57,486,717	73,768,661	22.8%	28.3%	1.8%	1.6%	1.1%	D 輸移出額
971,992,492	991,384,478	1,020,676,518	2.0%	3.0%	0.7%	0.8%	0.7%	II 総供給額
928,268,845	937,223,301	948,193,374	1.0%	1.2%	0.6%	0.6%	0.6%	E 県内生産額
△ 43,723,647	△ 54,161,177	△ 72,483,144	23.9%	33.8%	4.0%	3.6%	2.4%	F 輸移入額
90,532,708	111,647,894	1,285,517	23.3%	△98.8%	△1.0%	△0.9%	△68.3%	III 県際収支額
505,245,953	507,267,974	491,522,391	0.4%	△3.1%	0.6%	0.7%	0.7%	IV 粗付加価値額

## 2-2 生産構造

産業連関表における「県内生産額」とは、県内における各産業の生産活動によって生み出された財・サービスの総額をいい、生産活動に用いられる原材料・燃料等のいわゆる中間生産物も含まれる概念である。

### (1) 県内生産額の推移

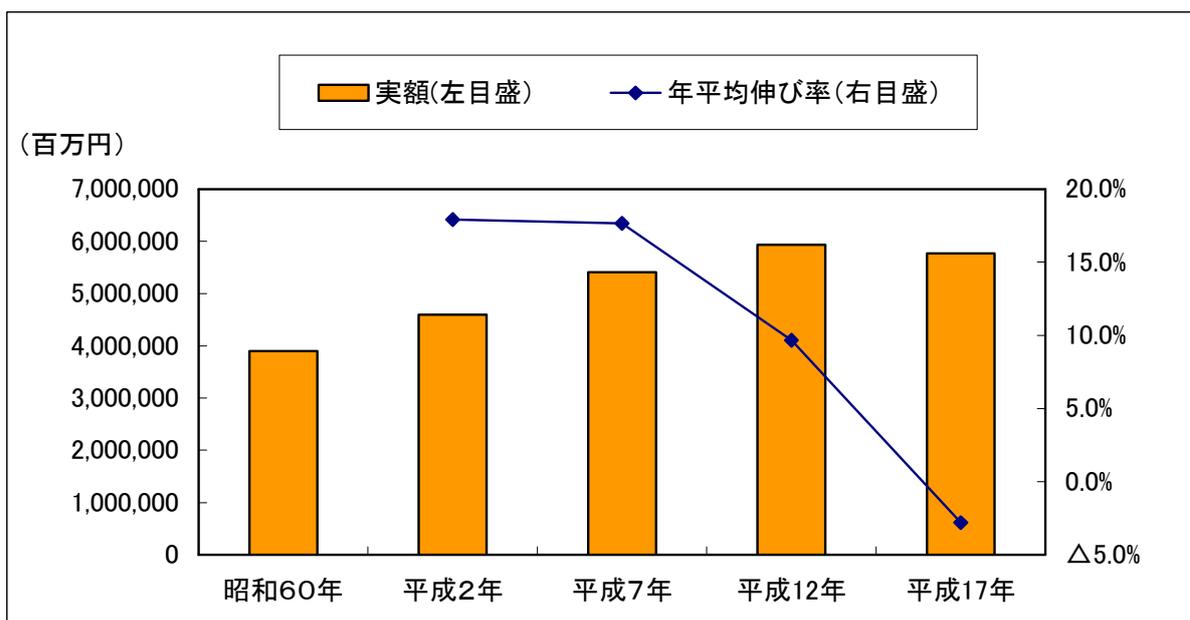
平成17年の県内生産額は5兆7,669億円で、平成12年と比較して2.8%の減少となった。

対全国（地域計）比（対全国シェア）は0.6%で、平成12年と比較して変わらずに推移している。

表 県（国）内生産額の推移

暦年		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
実額	沖縄県	3,899,642	4,598,304	5,410,023	5,933,601	5,766,899
	全国	671,669,046	865,263,972	928,268,845	937,223,301	948,193,374
伸び率	沖縄県	—	17.9%	17.7%	9.7%	△2.8%
	全国	—	28.8%	7.3%	1.0%	1.2%
沖縄県 対全国比			0.5%	0.6%	0.6%	0.6%

グラフ 県内生産額の推移



### (2) 県内生産額の産業別部門別推移

県内生産額の伸び率を産業別に見ると、平成12年と比較して第1次産業が2.7%の減少、第2次産業が22.3%の減少、第3次産業が4.6%の増加となった。

35部門別の推移をみると、平成12年と比較して1200「鉄鋼」、1800「精密機械」、0200「林業」、0900「化学製品」など11部門で増加した一方、2100「土木建設」、1000「石油製品・石炭製品」、1700「輸送機械」など24部門で減少した。

※以後、「産業別」は第1次産業、第2次産業、第3次産業の区分、「部門別」は35部門の区分とする。

表 県内生産額の産業別部門別推移表

	県内生産額			全国生産額	伸び率		対全国比
	平成7年	平成12年	平成17年	平成17年	12年/7年	17年/12年	17年
<b>第1次産業</b>	<b>118,965</b>	<b>108,154</b>	<b>105,192</b>	<b>13,154,575</b>	<b>△9.1%</b>	<b>△2.7%</b>	<b>0.8%</b>
0100 農業	97,400	86,521	84,437	10,275,669	△11.2%	△2.4%	0.8%
0200 林業	513	1,193	1,757	1,268,738	132.6%	47.3%	0.1%
0300 漁業	21,052	20,440	18,998	1,610,168	△2.9%	△7.1%	1.2%
<b>第2次産業</b>	<b>1,530,094</b>	<b>1,578,901</b>	<b>1,226,708</b>	<b>370,288,728</b>	<b>3.2%</b>	<b>△22.3%</b>	<b>0.3%</b>
0400 鉱業	16,411	19,080	18,970	1,008,381	16.3%	△0.6%	1.9%
0500 食料品・たばこ・飲料	246,930	268,113	218,143	35,936,744	8.6%	△18.6%	0.6%
0600 繊維製品	8,527	5,430	4,280	4,374,791	△36.3%	△21.2%	0.1%
0700 製材・木製品・家具	9,695	6,773	5,520	4,925,662	△30.1%	△18.5%	0.1%
0800 パルプ・紙・紙加工品	7,748	6,478	6,190	7,903,898	△16.4%	△4.4%	0.1%
0900 化学製品	4,946	6,424	8,257	27,486,950	29.9%	28.5%	0.0%
1000 石油製品・石炭製品	232,039	241,814	154,348	16,920,170	4.2%	△36.2%	0.9%
1100 窯業・土石製品	66,881	61,795	49,699	7,155,929	△7.6%	△19.6%	0.7%
1200 鉄鋼	17,846	13,994	27,600	25,756,606	△21.6%	97.2%	0.1%
1300 非鉄金属	2,001	2,475	2,077	7,330,007	23.9%	△16.1%	0.0%
1400 金属製品	43,330	36,613	32,728	12,484,448	△15.5%	△10.6%	0.3%
1500 一般機械	4,466	10,483	8,907	30,378,490	134.7%	△15.0%	0.0%
1600 電気機械	2,316	2,623	2,451	43,055,469	13.3%	△6.6%	0.0%
1700 輸送機械	4,486	19,863	12,809	53,016,318	342.8%	△35.5%	0.0%
1800 精密機械	211	365	675	3,722,693	73.0%	84.9%	0.0%
1900 その他の製造工業製品	32,288	36,598	34,975	25,594,848	13.3%	△4.4%	0.1%
2000 建築及び補修	411,163	392,431	363,097	39,835,071	△4.6%	△7.5%	0.9%
2100 土木建設	418,810	447,549	275,982	23,402,253	6.9%	△38.3%	1.2%
<b>第3次産業</b>	<b>3,713,684</b>	<b>4,208,359</b>	<b>4,400,803</b>	<b>559,264,243</b>	<b>13.3%</b>	<b>4.6%</b>	<b>0.8%</b>
2200 電気・ガス・熱供給	138,479	146,028	154,580	18,677,166	5.5%	5.9%	0.8%
2300 水道・廃棄物処理	67,822	83,317	78,917	8,112,152	22.8%	△5.3%	1.0%
2400 商業	449,434	455,647	535,882	106,274,512	1.4%	17.6%	0.5%
2500 金融・保険	164,220	229,300	280,831	41,586,785	39.6%	22.5%	0.7%
2600 不動産	381,048	582,844	524,151	66,205,935	53.0%	△10.1%	0.8%
2700 運輸	408,700	414,287	493,062	40,779,842	1.4%	19.0%	1.2%
2800 情報通信	193,489	175,863	209,923	45,935,957	△9.1%	19.4%	0.5%
2900 公務	373,989	417,188	391,078	26,981,744	11.6%	△6.3%	1.4%
3000 教育・研究	288,118	277,091	252,314	33,824,257	△3.8%	△8.9%	0.7%
3100 医療・保健・社会保障・介護	430,148	551,578	626,750	50,084,100	28.2%	13.6%	1.3%
3200 その他の公共サービス	39,384	38,794	45,495	5,030,634	△1.5%	17.3%	0.9%
3300 対事業所サービス	269,486	310,725	317,093	63,749,150	15.3%	2.0%	0.5%
3400 対個人サービス	509,367	525,697	490,727	52,022,009	3.2%	△6.7%	0.9%
3500 その他	47,280	38,187	34,196	5,485,828	△19.2%	△10.5%	0.6%
<b>3600 内生部門計</b>	<b>5,410,023</b>	<b>5,933,601</b>	<b>5,766,899</b>	<b>948,193,374</b>	<b>9.7%</b>	<b>△2.8%</b>	<b>0.6%</b>

平成12年と17年の生産額上位10部門の内容をみると、1部門を除いては上位部門に変化はない。上位部門の内容を比較すると、「建築及び補修」、「土木建設」を除いては第3次産業で占められている点で同様の傾向を示している。

表 生産額上位10部門の変動（平成12年－17年比較）

平成12年				平成17年			
順位	部門名	生産額	構成比	順位	部門名	生産額	構成比
1	不動産	582,844	9.8%	3	不動産	524,151	9.1%
2	医療・保健・社会保障・介護	551,578	9.3%	1	医療・保健・社会保障・介護	626,750	10.9%
3	対個人サービス	525,697	8.9%	5	対個人サービス	490,727	8.5%
4	商業	455,647	7.7%	2	商業	535,882	9.3%
5	土木建設	447,549	7.5%	4	運輸	493,062	8.5%
6	公務	417,188	7.0%	6	公務	391,078	6.8%
7	運輸	414,287	7.0%	7	建築及び補修	363,097	6.3%
8	建築及び補修	392,431	6.6%	8	対事業所サービス	317,093	5.5%
9	対事業所サービス	310,725	5.2%	9	金融・保険	280,831	4.9%
10	教育・研究	277,091	4.7%	10	土木建設	275,982	4.8%
13	金融・保険	229,300	3.9%	11	教育・研究	252,314	4.4%

(3) 県内生産額の構成比

平成17年の沖縄県の生産額構成比を産業別に見ると、第1次産業が1.8%（対平成12年比変化なし）、第2次産業が21.3%（同5.3ポイント低下）、第3次産業が76.3%（同5.4ポイント上昇）、その他が0.6%（同0.1ポイント低下）であった。

また部門別に見ると、平成12年と比較して構成比が上昇したのは2400「商業」（同1.6ポイント）、2700「運輸」（同1.5ポイント）、3100「医療・保険・社会保障・介護」（同1.6ポイント）など16部門であった。

一方、構成比が低下したのは1000「石油製品・石炭製品」（同1.4ポイント）、2100「土木建設」（同2.7ポイント）、2600「不動産」（同0.7ポイント）など19部門であった。

表 沖縄県生産額の部門別構成比と全国構成比の比較

	沖縄県部門別構成比			全国構成比	特化係数
	平成7年	平成12年	平成17年	平成17年	平成17年
<b>第1次産業</b>	<b>2.2%</b>	<b>1.8%</b>	<b>1.8%</b>	<b>1.4%</b>	<b>1.3</b>
0100 農業	1.8%	1.5%	1.5%	1.1%	1.4
0200 林業	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2
0300 漁業	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	1.9
<b>第2次産業</b>	<b>28.3%</b>	<b>26.6%</b>	<b>21.3%</b>	<b>39.1%</b>	<b>0.5</b>
0400 鉱業	0.3%	0.3%	0.3%	0.1%	3.1
0500 食料品・たばこ・飲料	4.6%	4.5%	3.8%	3.8%	1.0
0600 繊維製品	0.2%	0.1%	0.1%	0.5%	0.2
0700 製材・木製品・家具	0.2%	0.1%	0.1%	0.5%	0.2
0800 パルプ・紙・紙加工品	0.1%	0.1%	0.1%	0.8%	0.1
0900 化学製品	0.1%	0.1%	0.1%	2.9%	0.0
1000 石油製品・石炭製品	4.3%	4.1%	2.7%	1.8%	1.5
1100 窯業・土石製品	1.2%	1.0%	0.9%	0.8%	1.1
1200 鉄鋼	0.3%	0.2%	0.5%	2.7%	0.2
1300 非鉄金属	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0
1400 金属製品	0.8%	0.6%	0.6%	1.3%	0.4
1500 一般機械	0.1%	0.2%	0.2%	3.2%	0.0
1600 電気機械	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0
1700 輸送機械	0.1%	0.3%	0.2%	5.6%	0.0
1800 精密機械	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0
1900 その他の製造工業製品	0.6%	0.6%	0.6%	2.7%	0.2
2000 建築及び補修	7.6%	6.6%	6.3%	4.2%	1.5
2100 土木建設	7.7%	7.5%	4.8%	2.5%	1.9
<b>第3次産業</b>	<b>68.6%</b>	<b>70.9%</b>	<b>76.3%</b>	<b>59.0%</b>	<b>1.3</b>
2200 電気・ガス・熱供給	2.6%	2.5%	2.7%	2.0%	1.4
2300 水道・廃棄物処理	1.3%	1.4%	1.4%	0.9%	1.6
2400 商業	8.3%	7.7%	9.3%	11.2%	0.8
2500 金融・保険	3.0%	3.9%	4.9%	4.4%	1.1
2600 不動産	7.0%	9.8%	9.1%	7.0%	1.3
2700 運輸	7.6%	7.0%	8.5%	4.3%	2.0
2800 情報通信	3.6%	3.0%	3.6%	4.8%	0.8
2900 公務	6.9%	7.0%	6.8%	2.8%	2.4
3000 教育・研究	5.3%	4.7%	4.4%	3.6%	1.2
3100 医療・保健・社会保障・介護	8.0%	9.3%	10.9%	5.3%	2.1
3200 その他の公共サービス	0.7%	0.7%	0.8%	0.5%	1.5
3300 対事業所サービス	5.0%	5.2%	5.5%	6.7%	0.8
3400 対個人サービス	9.4%	8.9%	8.5%	5.5%	1.6
3500 その他	0.9%	0.6%	0.6%	0.6%	1.0
<b>3600 内生部門計</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>1.0</b>

#### (4) 特化係数

特化係数とは、ある部門における沖縄県の生産額構成比を同部門における全国生産額構成比で除したもので、沖縄県の産業がどの部門に特化しているかを計る指標であり、この係数が1を上回っている部門は、全国より特化した部門であるといえる。

沖縄県において特化係数が1を上回っている部門は0400「鉱業」、2900「公務」、3100「医療・保険・社会保障・介護」など18部門であった。

産業別にみると、第1次産業は3部門中2部門、第2次産業は18部門中5部門、第3次産業は13部門中10部門が特化しており、また、3500「その他」も特化していた。

第1次産業、第3次産業では全国よりも特化している部門が多いが、第2次産業では特化係数が1を下回っている部門が多いという独自の産業構造となっている。

グラフ 特化係数

